



首都大学東京 図書館本館

首都大教員に聞いた！！

『 学生時代の 必読書 』

2012 - 2013

アンケート期間:2012年12月～2013年1月

ここで紹介している図書は
首都大学東京に所属している教員が
本学の学生に

「学生時代に読んで欲しい図書」

として推薦した図書です

図書館本館に所蔵しています
実際に手に取って見ることができます

2013年4月から5月の期間は
図書館本館 1F 入口 展示コーナーに
推薦図書を展示しています

- ◇ 貸出可能です
- ◇ 貸出中資料への予約や他館にある複本を取り寄せすることもできます
- ◇ 予約の方法や所在が不明の場合等、分からないことがあれば、カウンター職員にお声がけください

平成24年度教員お薦め図書アンケート 図書タイトル一覧

	所属		書誌情報	配置場所	請求記号	掲載
1	人文・社会系 社会学コース	室田信一先生	コミュニティ：安全と自由の戦場	3F学生用	361.7/B28k/2008	p3
2			「弱さ」のちから：ホスピタブルな光景	2F学生用	281/W42y/2001	p3
3			私たちは「99%」だ：ドキュメントウォール街を占拠せよ	3F学生用	312.53/O58w/2012	p4
4	人文・社会系 国際文化コース 欧米文化論分野	西山雄二先生	二十歳の君へ：16のインタビューと立花隆の特別講義	3F学生用	367.6/To46h/2011	p5
5			原発を考える50話 新版	3F学生用	543.5/N86g/2011	p6
6			国際共通語としての英語	2F学生用	830.4/To67k/2011	p6
7	人文・社会系 国際文化コース アジア・日本文化論分野	教員	戦争は女の顔をしていない	2F学生用	986/A41s/2010	p7
8			安閑園の食卓：私の台南物語	3F学生用	596.2/Sh57a/2011	p8
9			貝のうた	2F学生用	778.2/Sa95s	p8
10	法学系 法律学コース	星周一郎先生	最高裁の暗闘：少数意見が時代を切り開く	3F学生用	327.1/Y24s	p9
11			ドキュメント裁判官：人が人をどう裁くのか	2F学生用	080/C64c/1677	p9
12			交通死：命はあがなえるか	2F学生用	080/I95sa/518	p10
13			アクチュアル民事の訴訟 補訂	3F学生用	327.2/F79a	p10
14	経営学系 経営学コース・経済学コース	加藤晋先生	ルイ・ボナパルトのプリュメール18日 初版	2F学生用	235.06/Ma59r/2012	p11
15			正義論 改訂版	3F学生用	321.1/R18s/2012	p11
16			王の二つの身体 --上,下	3F学生用	311.23/Ka59o/1・2	p12
17		岩間俊彦先生	格差社会の衝撃：不健康な格差社会を健康にする法	3F学生用	308/Sh12r/2-6	p13
18			不安な経済/漂流する個人：新しい資本主義の労働・消費文化	3F学生用	361.5/Se71f/2009	p14
19		井上朋紀先生	バナッハとポーランド数学	2F学生用	289.3/B17k/2005	p15
20	ハーメルンの笛吹き男：伝説とその世界		3F学生用	388/A12h/2007	p15	
21	石谷謙介先生	確率論と私	3F学生用	417.1/I89k/2011	p16	
22	都市政策コース	松井望先生	東京：首都は国家を超えるか	2F学生用	210.7/N73Y/10	p17
23			大阪：大都市は国家を超えるか	2F学生用	080/C64c/2191	p18
24			自治の重さ：夕張市政の検証	3F学生用	318.2/Mi65j	p18
25	理工学系 数理科学コース	教員	数学小景	3F学生用	410/Ta29s/2002	p19
26			プログラミング作法	2F学生用	007.6/Ke57p/2007	p19
27			理科系の作文技術	2F学生用	080/C64C/624	p20
28	地理環境コース	高橋洋先生	理科系の作文技術 [改版]	2F学生用	080/C64c/624	p20
29	建築都市コース	須永修通先生	設計のための建築環境学：みつける・つくるバイオクライマティックデザイン	3F学生用	525.1/N77s/2012	p21
30	分子応用化学コース	棟方裕一先生	ロウソクの科学 改版	3F学生用	430/F15r/2012	p21
31		田中学先生	最先端材料システムOne Point --全10巻	3F学生用	各巻内容による	p22
32	大学教育センター	永井正洋先生	教育工学への招待 新版	3F学生用	375.1/A29k/2013	p23
33	オープンユニバーシティ 人文・社会系 国際文化コース 欧米文化論分野	中村英男先生	死にゆく者の孤独	2F学生用	080/So63h/304	p24
34			中国行きのスロウ・ボート	2F学生用	913.6/Mu43c/2011	p24
35			日本世間断大系	2F学生用	914.6/I88n/2012	p25
36			幸福論 I	2F学生用	194/H58h/1	p25
37	経営システムデザイン コース	開沼泰隆先生	マッハの恐怖 --[正].続	2F学生用	687/Y53M	p26
38			ザ・ゴール：企業の究極の目的とは何か	2F学生用	933/G61z/1	p26

『コミュニティ：安全と自由の戦場』

ジグムント・バウマン著 奥井智之訳, 筑摩書房, 2008



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：361.7/B28k/2008

資料 ID：10001098617

人文・社会系社会学コース

室田 信一 先生

「共同体の崩壊」ということが言われ、現代社会の中に「コミュニティ」を取り戻すことが必要であるとマスメディアなどに取り上げられることが少なくない。とりわけ、自殺やひきこもりといった社会的孤立の問題が取り上げられるときに、コミュニティの再構築こそが解決策のように語られる。そこでは、コミュニティとは暖かいものであり、居心地のいいものであると考えられている。

本書は人々がコミュニティに対して抱くそうした幻想を問いなおすことを試みたうえで、コミュニティという切り口から、流動的な現代社会における多文化共生や社会保障といったトピックを紐解く。

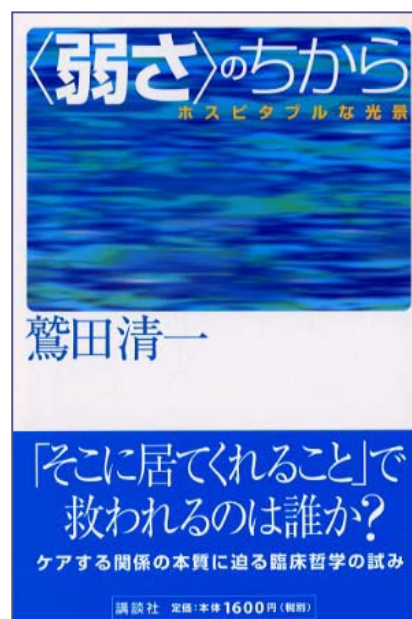
『「弱さ」のちから：ホスピタブルな光景』

鷲田清一著, 講談社, 2001

人文・社会系社会学コース

室田 信一 先生

「支援」や「ケア」というと、支援する側と支援される側の関係が一方的なものであると考えられている。この本は、そうしたケアの関係性を異なる視点から捉えようとしている。実は、そこにはケアの受け手がケアを提供する側を支えているという関係も成立しているということ、12人のケアの担い手へのインタビューから紐解く。ケアの担い手には、小学校の先生からダンスインストラクター、建築家、性感マッサージ嬢まで含まれる。多角的な視点から「ケア」の本質を追求している。



配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：281/W42y/2001

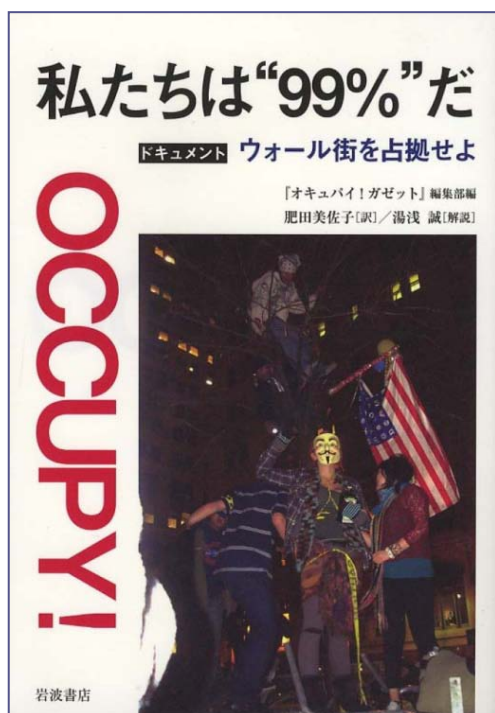
資料 ID：008112594

『私たちは"99%"だ : ドキュメントウォール街を占拠せよ』

「オキュパイ!ガゼット」編集部編

肥田美佐子訳

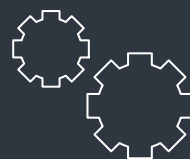
岩波書店, 2012



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：312.53/O58w/2012

資料 ID：10002799403



人文・社会系社会学コース

室田 信一 先生

昨年、多くの人を動員した「脱原発デモ」は約半世紀ぶりに日本で起こった大規模なデモとしてマスメディアでも大々的に取り上げられた。脱原発デモの特徴はその規模の大きさに限らず、SNSといったネットメディアが駆使されたこともその特徴としてあげられた。そうしたメディアを用いた社会運動の流れは「アラブの春」や「ウォール街を占拠せよ」という海外の大きな運動の影響を受けたものとして語られる。

本書はその「ウォール街を占拠せよ」の参加者による手記を集めたものである。その手記を通して学ぶことは、ネットメディアを駆使した運動の水面下では、まさに直接民主主義と呼ばれる参加者同士の対話や学びあいの場が設けられていたということである。理想的な社会を求めるのであれば、運動を通してその理想的な社会が体現されなければならない。本書はその現場のリアリティを伝えてくれる。



『二十歳 (はたち) の君へ :
16のインタビューと立花隆の特別講義』

東京大学立花隆ゼミ, 立花隆著

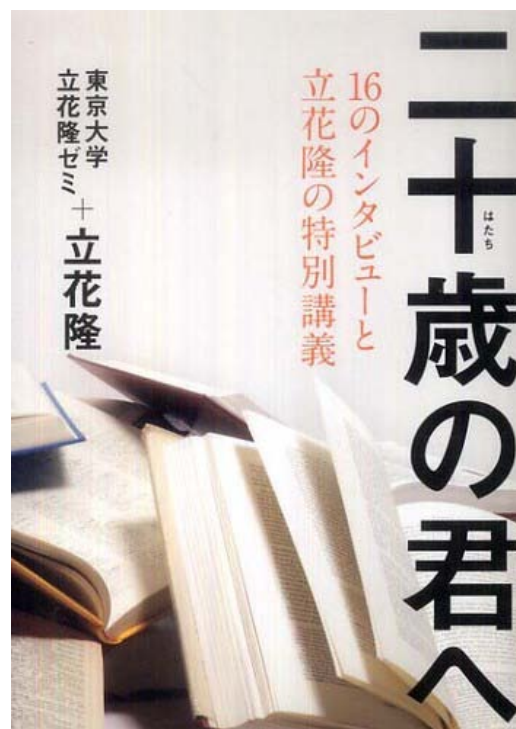
文藝春秋, 2011

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

西山 雄二 先生

若者は誰もが思い悩む。失敗するかもしれないけれど、避けては通れない決断が必要なきがある。本書は、東京大学の学生らが若者に向けて編んだインタビュー集。

首都大学東京からは、宮台真司と西山雄二が参加。



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：367.6/To46h/2011

資料ID：10002031319,

10002799560

『原発を考える 50 話』 新版
(岩波ジュニア新書)

西尾漠著, 岩波書店, 2006



『国際共通語としての英語』
(講談社現代新書)

鳥飼玖美子著, 講談社, 2011

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

西山 雄二 先生

就活のために英語学習に狂奔する学生たち。ネイティブ並みに話すことだけを生真面目に最終目標とする学習法は大事だが、それだけではどこかおかしい。実際、英語人口(20億人)のうち、ネイティブ話者(4億人)の方がすでに少数派。多数派は自分なりの英語を話している。外国語を学ぶことは、他人のまねをして自分を失うことではない。あくまでも他人と共存しつつ、自分自身であり続けるため。英語学習の呪縛から解放され、英語力に対する視野を広げるために必読。

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

西山 雄二 先生

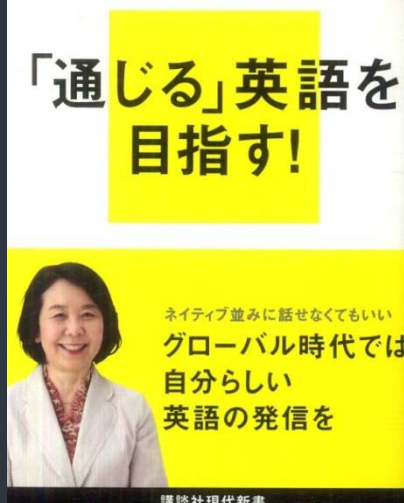
「3・11」以後、誰もが原発の安全性や将来性のことを考えざるを得なくなった。例えば、核廃棄物のゴミをどこにどうやって何万年も保管するのか。大学生のうちに原発関係の本をひもといておいた方がいい。そして、なるべくわかりやすいものを。岩波ジュニア新書?名前だけで侮らないでほしい。困難な問題を考えるためには、凝り固まった私たちの頭をもう一度、子供並みに解きほぐした方がいいから。

配置場所: 本館: 3F 学生用

請求記号: 543.5/N86g/2011

資料 ID: 10002799396

国際共通語としての英語
鳥飼玖美子



配置場所: 本館: 2F 学生用

請求記号: 830.4/To67k/2011

資料 ID: 10002130756

『戦争は女の顔をしていない』

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ著 三浦みどり訳

群像社, 2008

人文・社会系国際文化コース
アジア・日本文化論分野

教員

「なにかが起きた。
でも私たちはそのことを考える方法も、よく似たできごと、
体験ももたない。
私たちの視力も聴力もそれについていけない。
私たちの語彙ですら役に立たない。」

『チェルノブイリの祈り』の序でこのように書いた著者が、インタビューという方法でことばに残そうとした、女性兵士という体験。



配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：986/A41s/2010

資料 ID：10002800649

『安閑園の食卓 : 私の台南物語』
(集英社文庫)

辛永清著

集英社, 2010



人文・社会系国際文化コース
アジア・日本文化論分野

教員

中華街でも食べたことのない、おいしそうな料理がたくさん。豚の新鮮な脳味噌など、はたして日本で材料の入手や調理が可能なのかどうか疑問もわくが、各献立に詳しいレシピと調理法がついている。翡翠売りの縁結びのおばさん、精進料理に長けた尼さん、漢民族についてわたしたちはなにも知らないのだなあとあらためて思われる。満州開拓民を父母にもつ、林真理子の解説つき。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：596.2/Sh57a/2011

資料 ID：10002799411



『貝のうた』(新潮文庫)

沢村貞子著, 新潮社, 1983



『沢村貞子の献立日記』(とんぼの本)に高橋みどりが解説をかくなど、沢村貞子のリバイバルブームであるらしい。『私の浅草』に代表される、沢村の書くものにはつねに東京下町のおいがする。本書はその料理名人の、苦み、辛みがうかがえる部分といえようか。新潮文庫版の佐多稲子による解説は胸をうつ。

※この図書は、絶版のため入手できませんでした

同様の内容が収録されている以下の図書を用意しています

『貝のうた : 沢村貞子』日本図書センター, 1999 (人間の記録 113)

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：778.2/Sa95s

資料 ID：10002819821

『最高裁の暗闘：少数意見が時代を切り開く』（朝日新書）

山口進, 宮地ゆう著

朝日新聞出版, 2011



法学系法律学コース

星 周一郎 先生

いまひとつ「素顔」の見えにくい最高裁判所。その縁遠い存在に思われる最高裁の「実態」を、最近の注目判決を例にして描いている。また、やや古くなったが、山本祐司『最高裁物語』も、戦後の最高裁発足から今日までの「生身の歩み」を知るうえで興味深い。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：327.1/Y24s

資料 ID：10002819830

※『最高裁物語』も所蔵しています

『ドキュメント裁判官：人が人をどう裁くのか』（中公新書）

読売新聞社会部著

中央公論新社, 2002

法学系法律学コース

星 周一郎 先生

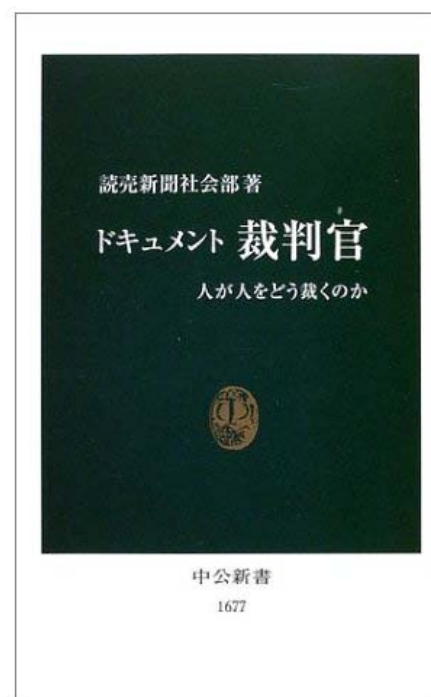
裁判官は、何を考え、どんな思いで裁判に臨んでいるだろうか。本書は、丹念な取材に基づいて、司法の現場における人間である裁判官の思考や苦悩に迫る。類書である『ドキュメント検察官—揺れ動く「正義」』、『ドキュメント弁護士—法と現実のはざまで』もあわせて読みたい。

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：080/C64c/1677

資料 ID：008483368

※『ドキュメント検察官』、『ドキュメント弁護士』も所蔵しています

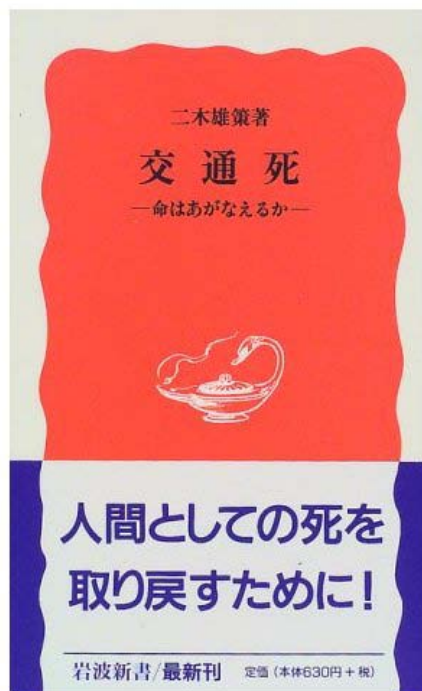


『交通死：命はあがなえるか』

(岩波新書；新赤版)

二木雄策著

岩波書店, 1997



『アクチュアル民事の訴訟』 補訂

福永有利, 井上治典著

有斐閣, 2006



法学系法律学コース

星 周一郎 先生

突然、我が子を失った経済学者が、その後になされた裁判や損害賠償などの体験を踏まえて、交通事故について考察したもの。出版時と現在とは事情が異なるところもあるが、経済学的視点を織り交ぜつつ、交通事故への法的対応をめぐる問題点を鋭く考察している。

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：080/I95sa/518

資料 ID：015275616



法学系法律学コース

星 周一郎 先生

架空の医療過誤事件をベースにして、民事の訴訟がどのようにして起こされ、訴訟手続が展開し推移していくのかを、物語仕立てで丁寧に描いている。刑事裁判に比べ、いまひとつ具体的イメージがわきにくい民事裁判を「リアル」に学ぶことができる。

配置場所：本館：3F 学生用

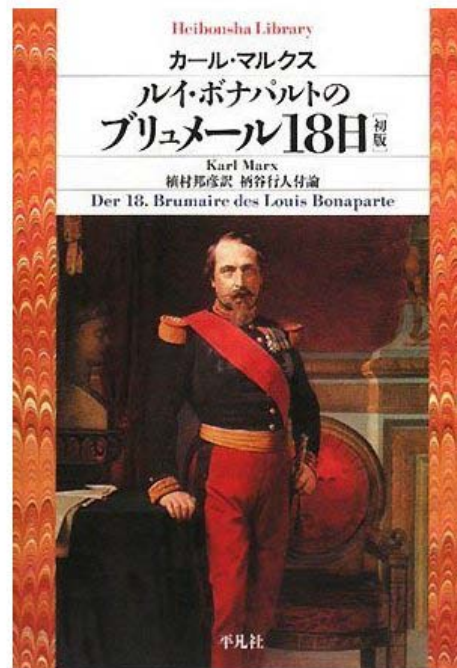
請求記号：327.2/F79a

資料 ID：10002819848

『ルイ・ボナパルトのブリュメール 18 日』 初版
(平凡社ライブラリー)

カール・マルクス著 植村邦彦訳

平凡社, 2008



経営学系
経営学コース・経済学コース

加藤 晋 先生

読むたびにとても熱い気持ちになります。もっと若い時に読めば良かったと思うのでお勧めします。

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：235.06/Ma59r/2012

資料 ID：10002800655

『正義論』 改訂版

ジョン・ロールズ著 川本隆史, 福間聡, 神島裕子訳

紀伊國屋書店, 2010

経営学系
経営学コース・経済学コース

加藤 晋 先生

現在、社会的正義の問題を考える上でベンチマークとなっています。通読するには時間がかかりますが、読む価値があると思います。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：321.1/R18s/2012

資料 ID：10002796318



『王の二つの身体』 (ちくま学芸文庫)

エルンスト・H.カントーロヴィチ著

小林公訳

筑摩書房, 2003



経営学系

経営学コース・経済学コース

加藤 晋 先生

中世の「王」の概念に関する研究ですが、本当に凄い取り組みだと思います。

現在を理解するには過去を理解することが重要だと痛感させられました。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：311.23/Ka59o/1・2

資料ID：上 008584579, 下 008584560



『格差社会の衝撃：不健康な格差社会を健康にする法』
(社会科学の冒険；2-6)

リチャード G. ウィルキンソン著

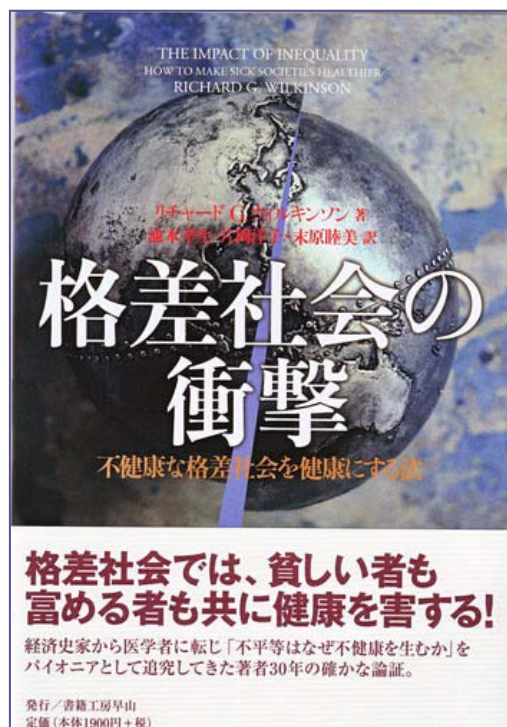
池本幸生，片岡洋子，末原睦美訳

書籍工房早山，2009

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：308/Sh12r/2-6

資料 ID：10001427436



経営学系経営学コース・経済学コース

岩間 俊彦 先生

学生のみなさんは、私たちの社会がより平等になることが望ましいと考えますか、それとも、社会が平等になるということは多くの問題を生み出すと考えますか。

本書は、21世紀初めまでの統計資料を分析して、社会の平等・不平等と健康の関連について秀逸な結果を示してくれます。著者の結論は、手短かに言えば、不平等な社会や国家では人びとが不健康になるということを示しています。不平等と不健康の密接な関連という本書の結論は、社会問題に関心のある世界中の人びとの常識になりつつあります。このような著者の結論に対して、不平等と不健康の因果関係が不明確といった批判もあります。にもかかわらず、本書は、第一に、私たちが望む社会を考えるための基礎的な知識となること、第二に、そのためには、どのような学問や社会問題を考えるにせよ、統計学を理解する必要があることを示したという点で、全ての大学生に推薦すべき書籍といえます。

本書の分析は、ほぼ世紀転換期までです。本書を読んだ皆さんが、著者の分析手法を参考にしながら、21世紀の日本や世界の社会について自ら考え検証していくことを願っています。

『不安な経済/漂流する個人 :
新しい資本主義の労働・消費文化』

リチャード・セネット著 森田典正訳

大月書店, 2008



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：361.5/Se71f/2009

資料 ID：10002800663



経営学系
経営学コース・経済学コース

岩間 俊彦 先生

学生のみなさんは、グローバル化した現在の経済社会を前途有望なものとして考えますか、それとも、なんだか不安な状況と考えますか。

著者は、官僚機構の問題、例えば、組織への帰属心の低下、労働者間の相互信頼の消滅、組織に関する知識の欠如等々、あるいは、労働者として「不要とされる不安」、また、個々に細分化されて主体を失いかねない消費者の問題が、21世紀初めの経済社会に関する重要な問題だと指摘しています。このような不確実で不安定な社会への対応として、著者は、第一に、自らが主体となって、自らの「物語」を語り記すこと、第二に、他者に必要とされる、また、他者のために行動するという「有用性」を実践すること、最後に、自己意識、お互いの尊重、お互いの行動の専念と関与を実現する専門性を実現することをあげています。

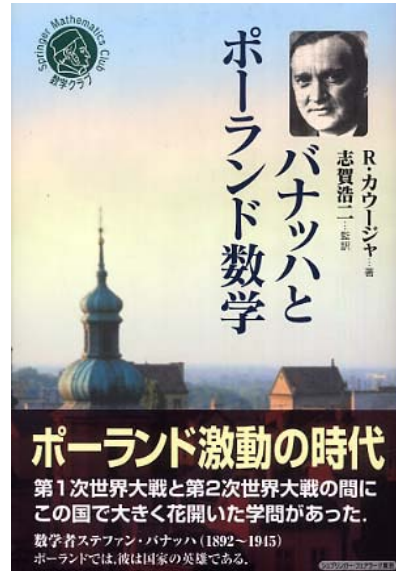
本書の内容や主張は、古典として読み継がれるというよりも、一刻も早く(2013年の)いますぐに読んで自ら考えるべきものといえます。



『バナッハとポーランド数学』(シュプリンガー数学クラブ)

R.カウージャ著 阪本ひろむ訳

シュプリンガー・フェアラク東京, 2005



配置場所：本館：2 F 学生用

請求記号：289.3/B17k/2005

資料 ID：10000300393

経営学系経営学コース・経済学コース

井上 朋紀 先生

意外に思う人も多いだろうが、戦間期にポーランドの数学界が華やいだ。

その幕は、独学で数学をしていたバナッハがクラクフの公園で友人のニコディムとルベグ測度の話をしていた時に、大学の助手になる直前のシュタインハウスに発見されたことで開いた。位相数学や函数解析学で定理の名前で聞いたこのとある人物たちがバナッハを中心に数学の話で盛り上がっている当時の情景をあれこれ想像するのが楽しくなる本。そのぐらい、当時のポーランドの数学者の出会いや交流は物語に満ちている。

『ハーメルンの笛吹き男：伝説とその世界』(ちくま文庫)

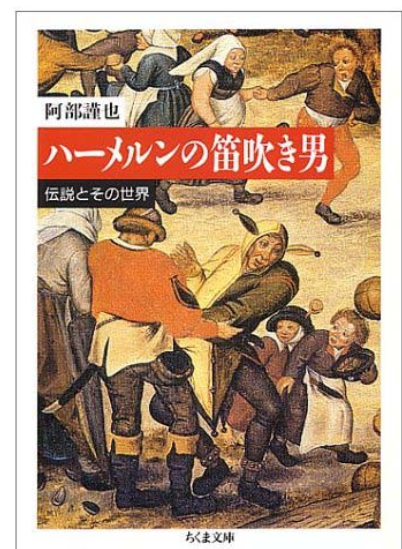
阿部謹也著

筑摩書房, 1988

経営学系経営学コース・経済学コース

井上 朋紀 先生

グリム童話で、鼠退治の報酬を支払わなかったために笛吹き男が子供たちを連れ去ったという話は聞いたことがあるだろう。1284年6月26日にドイツのハーメルンで子供たちが消え去ったのはどうも事実らしいが、当時の記録には「笛吹き男」など登場していなかった。どのような経緯で「笛吹き男」が登場するようになり、また子供たちは何故消えたのかについて、著者が説得的に自説を展開する。もはや確認できない過去の出来事を丁寧に論証していく姿勢も感じとってもらいたい。



配置場所：本館：3F 学生用

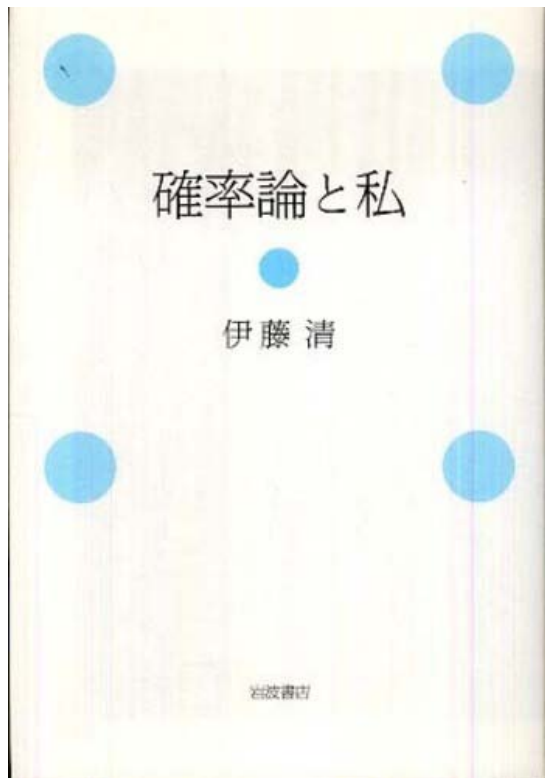
請求記号：388/A12h/2007

資料 ID：10000851015

『確率論と私』

伊藤清著

岩波書店, 2010



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：417.1/189k/2011

資料 ID：10002796326



経営学系
経営学コース・経済学コース

石谷 謙介 先生

伊藤清先生は確率解析、確率微分方程式の理論の創始者であり、その中で作られた伊藤の公式は数理ファイナンス・金融工学で使われ、理論面のみでなく金融実務にも大きな影響を与えている数学公式です。

本書は伊藤清先生のエッセイ集です。偉大な数学者の生い立ちや哲学が記してあり、文系理系問わずお勧めの一冊です。



『東京：首都は国家を超えるか』
(20世紀の日本 / 北岡伸一 [ほか] 編 ; 10)

御厨貴著

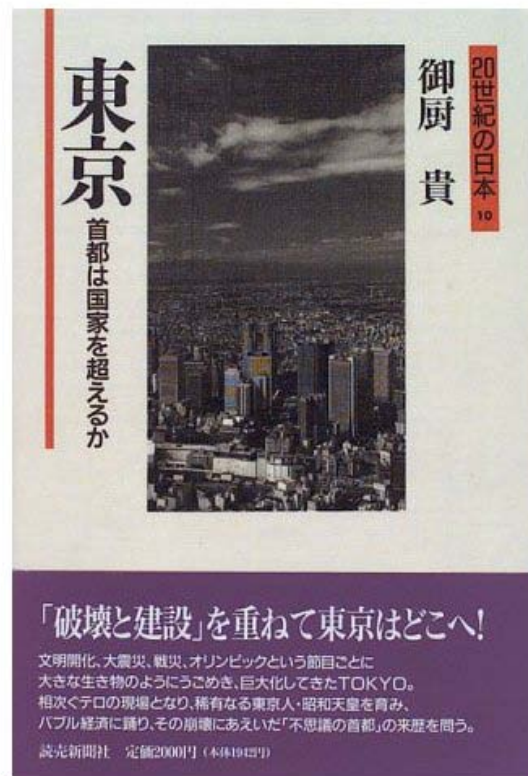
読売新聞社, 1996

都市政策コース

松井 望 先生

2013年は、東京都が誕生して70年。

東京という空間を政治学的に接近するときに、まずは手に取りたい一冊。本書が明らかにした東京の特色—「伴中央主義」「反中央主義」「半中央主義」—は、2010年代の現在はどうか考えてみたい。



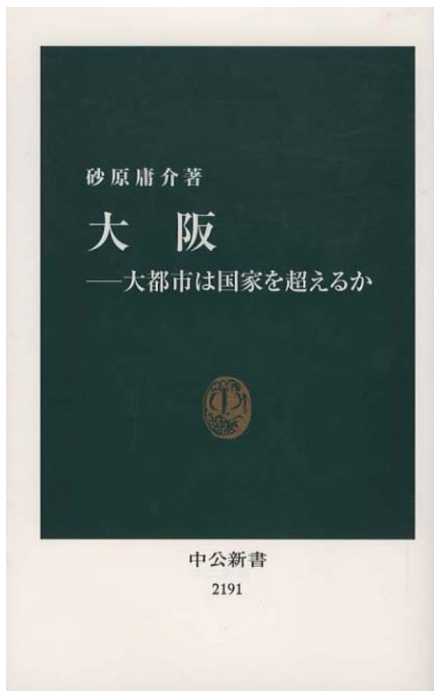
配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：210.7/N73Y/10

資料ID：014664026

『大阪：大都市は国家を超えるか』 (中公新書)

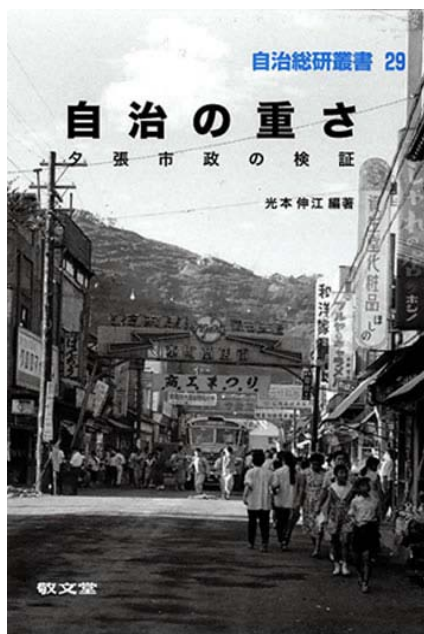
砂原庸介著，中央公論新社，2012



『自治の重さ：夕張市政の検証』 (自治総研叢書；29)

光本伸江編著

敬文堂，2011



都市政策コース

松井 望 先生

もう一つの大都市、大阪。

近年では、大阪都構想をはじめとして、自治の意味を考えさせる政策課題を提供する。大阪の特性を「都市官僚制の論理」と「納税者の論理」の2つの視点から、鮮やかに論じている。では、東京と考えさせられる。

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：080/C64c/2191

資料ID：10002711472



都市政策コース

松井 望 先生

2007年に財政再生団体となった夕張市。

ではなぜ、夕張市は、財政に困窮したのか。多額の債務を負うまでに至った背景と再建の軌跡を論じ、危機のなかにある自治体の「再生」「回生」の意義を描く。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：318.2/Mi65j

資料ID：10002819854

『数学小景』 (岩波現代文庫 学術 81)

高木貞治著

岩波書店, 2002.4



理工学系数理科学コース

教員

日本を代表する数学者、高木貞治によって書かれた本書は、いくつかのゲーム・パズルを題材に、数学的な考え方を説明しています。扱われている題材は、ケーニヒスベルグの橋渡り、15の駒遊び（15パズル）、魔方陣などです。予備知識は特に必要としないので、誰でも数学の面白さを感じることができるとでしょう。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：410/Ta29s/2002

資料 ID：008296745

『プログラミング作法』

Brian W. Kernighan, Rob Pike 著 福崎俊博訳

アスキー, 2000.11

理工学系数理科学コース

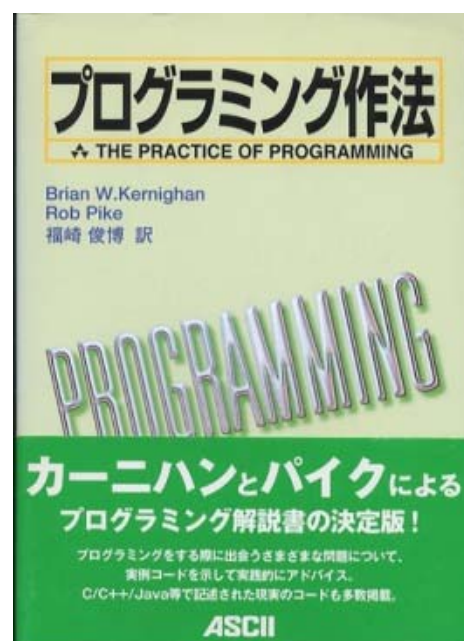
教員

良いプログラムを書くためのさまざまな手法・技術を解説した本です。プログラミングスタイルから始まり、アルゴリズムとデータ構造、設計、デバッグ、テスト、性能改善などの話題が取り扱われています。プログラミングをある程度学んだ後で読むと、プログラミング技術向上の役に立つと思います。

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：007.6/Ke57p/2007

資料 ID：10002796300



『理科系の作文技術』(中公新書 624)

木下是雄著

中央公論新社, 2002.6



2002.6 発行 [改版]

配置場所：本館：2 F 学生用

請求記号：080/C64c/624

資料 ID：10002796292

1981.9 発行

配置場所：本館：2 F 学生用

請求記号：080/C64C/624

資料 ID：000871410

理工学系数理科学コース

教員

理科系の人向けに、論文・レポートなどの文章の書き方を解説した本です。本書の内容を理解することで、簡潔で分かりやすい文章を書く力が身に付きます。今となっては古くなった部分もありますが、現在でも有用な一冊です。



地理環境コース

高橋 洋 先生

大学の授業だけではなく大学を卒業してからも、わかりやすいレポートを書く技術は必須です。高校までに習う国語の授業では、理科系のレポートの書き方を学習しないように思われます。しかしながら、授業のレポートを始め、働いてからの会議などでも、理科系の作文技術は必須です。理科系の作文技術がないと、要領を得にくいレポートや資料が大量に出回ることになります。私も勉強中ですが、学生のみならず、この本を一度読んでほしいと思います。

『設計のための建築環境学 : みつける・つくるバイオクライマティックデザイン』

日本建築学会編

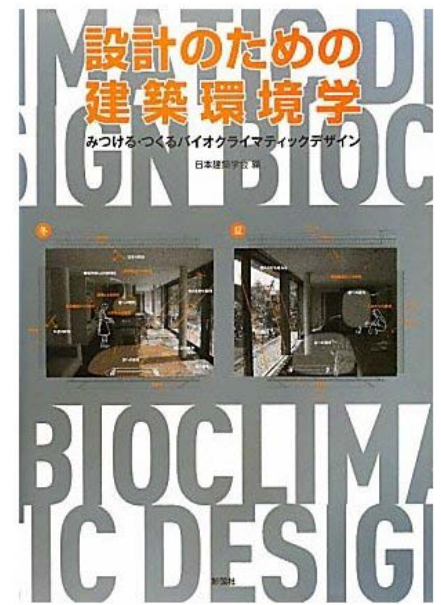
彰国社, 2011

建築都市コース

須永 修通 先生

室内をなるべく少ないエネルギーで快適にしたいと思っている人、環境教育にたずさわっている人、そして、建築を志す人に、必読の書です。

バイオクライマティックデザインとは、「その地域の自然に合致し、地球環境を維持できる。人間に快適かつ喜びを与える建築デザイン」のことです。光や熱や空気の流れを「見つけて」、その原理を「知って」、建築の設計や生活に活かす(=「つくる」)ことをビジュアルに解説しています。



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：525.1/N77s/2012

資料 ID：10002796185

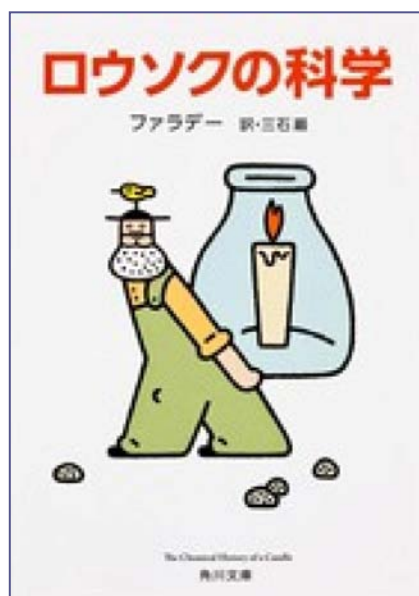
『ロウソクの科学』 改版 (角川文庫)

ファラデー [著]；三石巖訳

角川書店, 2012

分子応用化学コース

棟方 裕一 先生



マイケル・ファラデーが1860年にロンドンの王立研究所で行ったクリスマス講演の記録です。ロウソクという身近なものを題材に取り上げ、その燃焼時に起こる様々な現象を科学的に解説しています。本書の優れている点は、科学的な考察を大人から子供にまで如何に分かりやすく伝えるかに重点を置いているところです。どんなに素晴らしい発見や発明をしても、その内容を他人に正確に伝えることができなければ、その価値は発揮されません。これから研究者を志す理系の学生さんには是非読んで貰いたい一冊です。

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：430/F15r/2012

資料 ID：10002796193

『最先端材料システム One Point』

全 10 巻

共立出版, 2012



- 1 巻:カーボンナノチューブ・グラフェン
- 2 巻:イオン液体
- 3 巻:自己組織化と機能材料
- 4 巻:ディスプレイ用材料
- 5 巻:最先端電池と材料
- 6 巻:高分子膜を用いた環境技術
- 7 巻:微粒子・ナノ粒子
- 8 巻:フォトクロミズム
- 9 巻:ラッグデリバリーシステム
- 10 巻:イメージング

配置場所：本館：3F 学生用

請求記号，資料 ID：

- (1) 501.4/Ko14k/2012, 10002796200
- (2) 572.2/Ko14i/2012, 10002796219
- (3) 578/Ko14j/2012, 10002796227
- (4) 549.9/Ko14d/2012, 10002796235
- (5) 572.1/Ko14s/2012, 10002796243
- (6) 571.4/Ko14k/2012, 10002799320
- (7) 571.2/Ko14b/2012, 10002796250
- (8) 431.5/Ko14f/2012, 10002796268
- (9) 499.6/Ko14d/2012, 10002796276
- (10) 491.4/Ko14i/2012, 10002799339



分子応用化学コース

田中 学 先生

高分子学会が編集している本シリーズは、過去に何度も出版されている One Point シリーズの最新版であり、最新・最先端の材料に関する種々のトピックスについて各分野のトップランナーの研究者により執筆されている。

本シリーズ(全 10 巻)は、カーボンマテリアルやイオン液体など新しい素材から、バイオ・ナノ分野で活躍する材料、エネルギー・電子・光デバイス用材料や環境応用技術まで幅広い領域を抑えており、多くの読者のニーズに合ったものである。

私も学生時代から過去のシリーズを所有しており、愛読している。コンパクトで平易な記述のため学部生でも容易に読むことができ、それでいて最新の研究内容まで網羅していることから大学院生・研究者まで満足できる内容となっている。以上の理由から、大変有益な図書として推薦する。



『教育工学への招待』 新版 (ジャムハウスの教育書)

赤堀侃司著,

ジャムハウス, 2013.2

大学教育センター

永井 正洋 先生

日本教育工学会元会長、東京工業大学名誉教授 赤堀侃司先生のお書きになった、教育工学を初めて勉強する方のための解説書です。教育工学で扱う内容は情報メディアの教育での活用や教師教育、情報教育、学習支援システムによる環境構築など多岐に渡りますが、本書は、入門者にとって分かりやすく、学校の教員など目指す方にはお薦めの1冊です。



配置場所：本館：3F 学生用

請求記号：375.1/A29k/2013

資料 ID：10002819862

『死にゆく者の孤独』
(叢書・ユニベルシタス 304)

ノルベルト・エリアス [著] ; 中居実訳
法政大学出版局, 2010.12



配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：080/So63h/304

資料 ID：10002799347

『中国行きのスロウ・ボート』 (中公文庫)

村上春樹著, 中央公論社, 1997.4

オープンユニバーシティ

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

中村 英男 先生

村上春樹。何か嫌いだから読んだことのないという人に推薦します。私の場合は初期の小説を10代の終わり頃に読んでイヤだと思い、そのまま読まないで10年以上経過。それが、たまたまこの本を読んで他の作品を読みたくなってしまった。実の所長編よりもこういう短編をもっと書いてくれたらなぁと思います。

オープンユニバーシティ

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

中村 英男 先生

ニュースや統計に出てくる死とは異なり、自分自身、もしくは身近な人に死に近づいていると言うことがわかると、ほとんど場合、人は現実の底が抜けてしまったような感覚を味わう。これは近代社会が、そのような運命的、実存的なものをうまく取り扱えないために、隔離してしまっているからでもある。縁起でもない話だが、もし、そういう苦しい経験をせねばならなくなった時、心に慰めを与えてくれる本だと思う。死ぬということが、特別な理解不能な事ではなく、生きていることの当然の一部なのだということ、それを気づかせてくれる本。



配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：913.6/Mu43c/2011

資料 ID：10002796284

『日本世間断大系』(新潮文庫)

伊丹十三著

新潮社, 2005



オープンユニバーシティ

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

中村 英男 先生

映画監督として有名な伊丹は、洒落者でセンスの良いエッセイストでもあった。絶対に嘘、と断言出来るものから、聞き書きによる固い事実に基づいた話の間の、グレーとしか言いようのない様々な物語が語られる。本当なのか嘘なのか、眉に唾をつけたくなる話が充満する奇書と言うにふさわしいもの。オムレツの作り方、シャワーの浴び方から、日本の村社会での選挙や差別。天皇制をめぐるディーテイル等。テレビで良く見る、単なるいじめのような笑いに飽きたらどうぞ。

配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：914.6/188n/2012

資料 ID：10002799353

『幸福論 I』

カール・ヒルティ著 氷上英廣訳

白水社, 2012

オープンユニバーシティ

人文・社会系国際文化コース
欧米文化論分野

中村 英男 先生

うめき声を出したくなるほどつらいと思うとき、読んで見ると、その苦しみを耐え通せるきっかけを見つけられるかも。特に「エピクテトス」がお奨め。ストア派の哲学は、最初は奴隷という公の政治から排除された人間が始め、やがてローマの皇帝もその信奉者となっていった。いとわしいと感じる世界を生き延びていく心構えが説かれている。苦しみをごまかしたり不安から目をそらしたり、あまつさえクスリでごまかしたりというのが流行の世の中だけれど、苦痛が自分という存在を形作るはじめの一步になるかもしれないと、気づかせてくれるかもしれない本。



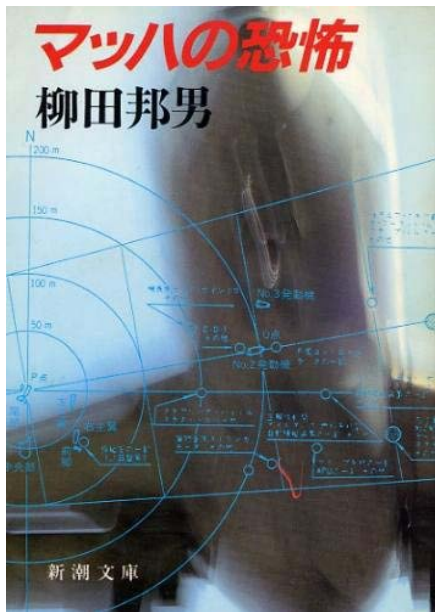
配置場所：本館：2F 学生用

請求記号：194/H58h/1

資料 ID：10002799361

『マッハの恐怖』(新潮文庫)

柳田邦男著, 新潮社, 1986



※この図書は、絶版のため入手できませんでした

同様の内容が収録されている右記の図書を用意しています

『企業の究極の目的とは何か』

(ザ・ゴール [1])

エリヤフ・ゴールドラット著 三本木亮訳

ダイヤモンド社, 2001

経営システムデザインコース

開沼 泰隆 先生

経営技術として登場したサプライ・チェーン・マネジメントを分かりやすく物語風に記した本です。サプライ・チェーンの同期化、ボトルネック(TOC)、経営のスピードの点など、経営効率を上げ、企業の収益を上げることが可能な技術(考え方)が詳しく述べられています。アメリカでも、日本でもミリオンセラーになって本です。たまたま1995年に在外研究でカリフォルニア大学に行った時に、大学のブックセンターで見つけて読んだものです。日本語版が2001年まで出版されなかったのにも理由があるようです。マネジメント(コントロールとデザイン)に興味のある方は是非読んでみて下さい。

経営システムデザインコース

開沼 泰隆 先生

1966年に発生したジェット機墜落事故に関する原因追求のドキュメンタリーです。「操縦ミス」で片付けられた事故に疑問を持ち、原因を明らかにしていく過程がまだ脳裏に残っています。この本を読んで、プラント事故、システム故障等に興味を持つようになり、大学院で品質管理研究分野に進むきっかけになりました。

2011年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故も、真の原因を把握せずに幕引きを図ろうとしていて、45年前と同じような構図が見えてきます。真の原因とは何かを追求するプロセスを味わってみて下さい。

『マッハの恐怖』柳田邦男著, フジ出版社, 1983

配置場所: 本館: 2F 学生用

請求記号: 687/Y53M

資料ID: [正] 003157883, 続 003157339



配置場所: 本館: 2F 学生用

請求記号: 933/G61z/1

資料ID: 10002680750

学生時代の

今だからこそ

読んで欲しい

首都大教員に聞いた！！「学生時代の必読書」
2012-2013

発行日 : 2013年3月

発行 : 首都大学東京 図書館本館 受入担当

T E L : 042-677-2407

U R L : <http://www.comp.tmu.ac.jp/library/>